

# 長峰公園内の石碑紹介②

## ③野口雨情歌碑（昭和五十三年十一月建立）

この歌碑は、市制二十周年記念事業の中で建てられたものです。ここには、雨情作の「矢板長峰初夏頃にゃ紅いつつじの花が咲く」と刻まれております。

雨情と言えば、「十五夜お月さん」や「七つの子」「シャボン玉」などの童謡や、「船頭小唄」「波浮の港」などの民謡を作った詩人として有名です。この雨情が、昭和十一年に故高柳元市長らの招きにより長峰公園を訪れた際に、その美しさに胸を打たれ詠まれました。



設置場所：つつじアラカルト広場西側

たものです。

雨情が矢板を詠んだ唯一のこの作品は、市内の某家に所蔵されておりました。そこで、矢板市ではこの貴重な文化遺産を、ぜひとも多くの市民に公開したいと呼びかけ、歌碑が造られました。

## ④上野千里先生詩碑（昭和五十年晩秋建立）

上野病院は、現在の本通り、県北J A会館の駐車場付近にありました。父親の萬里さんはお産の神様として、また貧しい人には無料で診察をするなど、大変慕われていた先生でした。その一人息子である千里さんは、慈恵医科大学を卒業後に入隊し、海軍軍医中佐となり、アジア各地の戦地で日本兵や捕虜となった外国人兵士の治療に当たっていました。昭和二十一年に復員し、休む間もなく地域住民の治療に専念していました。



設置場所：遊具広場前

しかし、翌年二月の雪の降る日、突然アメリカ軍のジープがやって来て連行され、そのまま帰らぬ人となってしまいました。罪状は、捕虜のアメリ力兵に殺害の命令を下したというものでした。しかし、これは全くの濡れ衣でしたが、千里さんは一言の弁明もせずに、昭和二十四年三月三十一日に処刑されてしまったのでした。

この碑には、「子供たちのために」というタイトルで作られた、長詩の中の八行分が刻まれています。トルストイに憧れていたという千里先生の人道愛に満ち溢れた詩は、何を訴え続けているのでしょうか。

「おしろい」の滝は、新緑の季節には雪解けの水量があり、なかなかよい滝です。時々滝の水が止まっていることもあり、それで幻の滝と言いつつかな？

滝はそれほど高くはありませんが、水量が多いときは蝶ネクタイを縦にしたように滝の中段が止まっています。滝壺は滝が止まっている時は「コバルトブルー」のようになります。

「おしろい」の滝は、新緑の季節には雪解けの水量があり、なかなかよい滝です。時々滝の水が止まっていることもあり、それで幻の滝と言いつつかな？

滝はそれほど高くはありませんが、水量が多いときは蝶ネクタイを縦にしたように滝の中段が止まっています。滝壺は滝が止まっている時は「コバルトブルー」のようになります。



線の变化で滝壺も変化します。夏は夕立など大雨が降るとすごい滝になります。秋は紅葉がすてきです。紅葉の色が滝や滝壺に写り込みます。冬の写真を撮りたいのですが、山の駅から先は、冬期通行止めになるので、気軽には行けないですが、この冬は「冬のおしろい」の滝に挑戦したいですね…。(J・N)

## 記者の矢板おすすめスポット!

イルミネーションがありました。今年十二月一日に矢板、二日に片岡駅前と十二月の風物詩と言えば、定番のイルミネーション。私は心を浮き浮きほのぼのさせてくれるイルミネーションが大好きです。わが街矢板では、市民のボランティアの方を中心に、毎年駅前広場の全体に大きなツリーや色とりどりの光が彩られています。いつの年でもたか、天使が愛の矢を構えているイルミネーションのベンチの下で、高校生が語り合っていたことも



そこに宵の明星がきらめくと明日も頑張らなくちゃと思います。皆さんの矢板のおすすめはどんな景色、どんな味でしょうか。(R・K)

(編集後記) 「長峰公園内の石碑紹介」をシリーズでお送りしていますが、10月18日(水)に矢板市文化財愛護協会のメンバー11人で約3時間かけて石碑の清掃を行いました。メンバーの一人が高圧洗浄機を持ってきてくれたおかげで、12基の石碑をきれいにする事ができました。6月の清掃の時は、下野新聞に記事を書いてもらいましたが、矢板の文化財を大切にしている活動をできるだけ多くの市民に知ってほしいと思います。(T・H)